

15年9月期第1四半期決算

横浜冷凍、荷動き低下で1Q営業益3割減

Edited By LogisticsToday On 2015/02/12

横浜冷凍が12日に発表した2014年10月から12月まで3か月間の決算は、新設物流センターの立ち上げ費用がかさんだほか、荷動きの低下、食品販売事業の利益率低下が響き、営業利益が30.3%減少した。

冷蔵倉庫事業は、新センター4拠点の稼働によって保管収容能力が9万6000トン増加し、88万8000トンとなったが、新拠点の立ち上げ費用、急激な円安・消費増税などの影響で荷動きが低下。利益を下押しする要因となった。

貨物取扱量は、入庫が微増(0.2%増)、出庫が4000トン増(1.3%増)、平均保管在庫量は4万8000トンの増加(6.2%増)となった。タイヨコレイでは、前期竣工したワンノイ物流センター2号棟が旺盛な低温物流ニーズを取り込み、順調に稼働している。

[横浜冷凍の冷蔵倉庫事業]2015年9月期第1四半期決算(単位:百万円)

	2015年9月期第1四半期	2014年9月期第1四半期	増減率(%)
売上高	6,339	5,933	6.8%
営業利益	1,469	1,722	-14.7%

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/146770>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.